

7 定住意向

■単純集計

- ・「ずっと区内に住み続けたい」の割合は、転入者が3割程度、居住者が4割程度
- ・「近いうちに区外に転出する予定である」の割合は、いずれも3%程度
- ・ずっと港区に住みたいと回答した人以外の港区に住みたいと考える年数は、転入者では「5年未満」の割合が最も高く、居住者では「5～10年未満」の割合が最も高い
- ・居住者の「ずっと区内に住み続けたい」の割合は、令和2年度以降変わらず4割程度

図表2-97-1は、定住意向の単純集計の結果である。本設問は、転入者と居住者を対象とした設問である。

転入者をみると、「当分は区内に住んでいたい」が35.75%と最大の値を示し、次いで「ずっと区内に住み続けたい」は31.50%、「しばらくは区内に住むつもりだが将来は区外に転出したい」は14.25%となっている。

居住者をみると、「ずっと区内に住み続けたい」が41.91%と最大の値を示し、次いで「当分は区内に住んでいたい」は32.34%、「しばらくは区内に住むつもりだが将来は区外に転出したい」は11.22%となっている。

図表2-97-1 定住意向 (SA)

	(単位 %)	
	転入者(n=400)	居住者(n=303)
ずっと区内に住み続けたい	31.50	41.91
当分は区内に住んでいたい	35.75	32.34
しばらくは区内に住むつもりだが将来は区外に転出したい	14.25	11.22
近いうちに区外に転出したいが、具体的な計画はない	4.25	1.65
近いうちに区外に転出する予定である	3.00	3.63
わからない	10.50	8.58
無回答	0.75	0.66

図表2-97-2は、港区に住みたいと考える具体的な定住年数の単純集計の結果である。本設問は、定住意向の設問において「ずっと区内に住み続けたい」以外を選択した人を対象とした設問である。

転入者をみると、「5年未満」が20.44%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「5～10年未満」は17.15%、「10～20年未満」は12.77%となっている。

居住者をみると、「5～10年未満」が18.75%と無回答以外では最大の値を示し、次いで「10～20年未満」は14.20%、「5年未満」は11.93%となっている。

図表2-97-2 港区に住みたいと考える年数 (FA)

	(単位 %)	
	転入者(n=274)	居住者(n=176)
5年未満	20.44	11.93
5～10年未満	17.15	18.75
10～20年未満	12.77	14.20
20～30年未満	1.82	1.70
30年以上	0.36	1.14
無回答	47.45	52.27

注：本設問は、「定住意向」を尋ねる設問で「ずっと区内に住み続けたい」と回答した人を非該当としている。

また、令和2～4年度の調査結果は図表2-97-3のとおりである。調査対象者や選択肢が異なるため単なる比較はできないが、「ずっと区内に住みたい」と回答した割合は、令和2年度が42.34%、令和3年度は36.94%、令和4年度は39.27%となっており、令和5年度の居住者と同様に4割程度が「ずっと区内に住みたい」と考えている。

図表2-97-3 令和2～4年度の調査結果（定住意向）（SA）

（単位：%）

	令和2年度 (n=529)	令和3年度 (n=628)	令和4年度 (n=550)
ずっと区内に住みたい	42.34	36.94	39.27
当分は区内に住んでいたい	31.95	36.94	30.36
しばらくは区内に住むつもりだが将来は区外に転出したい	9.64	9.71	10.00
近いうちに区外に転出したいが、具体的な計画はない	4.35	3.34	4.73
近いうちに区外に転出する予定である	2.65	3.18	2.73
わからない	9.07	9.87	12.91

■クロス集計

ア 年齢

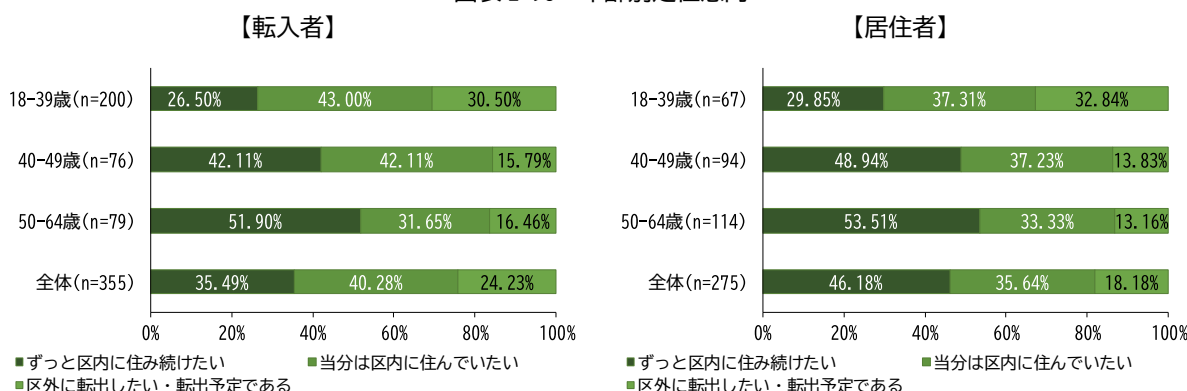
転入者と居住者のいずれも、年齢が高いほど「ずっと区内に住みたい」割合が高い

図表2-98は、年齢と定住意向のクロス集計結果である。いずれの居住属性でも有意な差がみられた。

転入者について、「ずっと区内に住みたい」をみると、「50～64歳」が51.90%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は42.11%、「18～39歳」は26.50%となっている。

居住者について、「ずっと区内に住みたい」をみると、「50～64歳」が53.51%と最大の値を示し、次いで「40～49歳」は48.94%、「18～39歳」は29.85%となっている。

図表2-98 年齢別定住意向



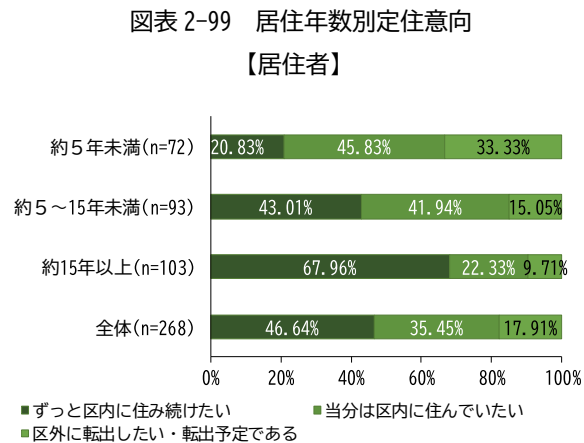
注：「区外に転出したい・転出予定である」には「しばらくは区内に住むつもりだが将来は区外に転出したい」「近いうちに区外に転出したいが、具体的な計画はない」「近いうちに区外に転出する予定である」を含む。以下、同様。

イ 居住年数

居住年数が長いほど、「ずっと区内に住み続けたい」割合が高い

図表 2-99 は、居住年数と定住意向のクロス集計結果である。

居住者について、「ずっと区内に住み続けたい」をみると、「約 15 年以上」が 67.96%と最大の値を示し、次いで「約 5 ～ 15 年未満」は 43.01%、「約 5 年未満」は 20.83%となっている。



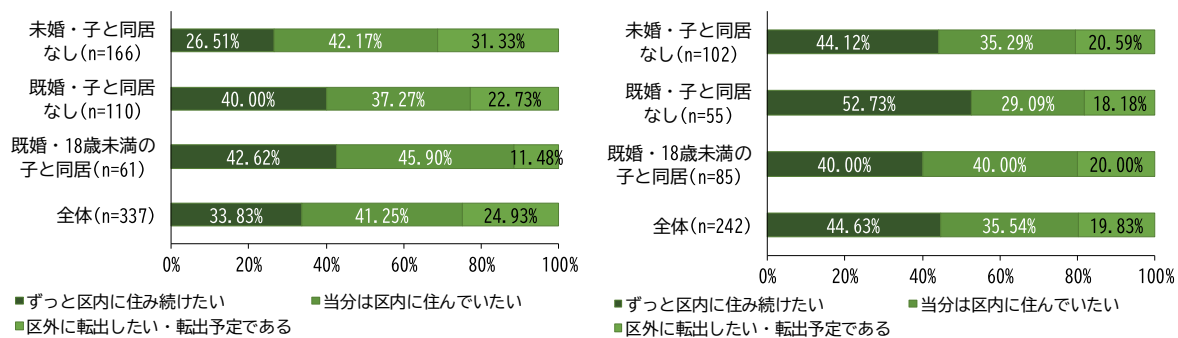
ウ 世帯類型

- ・転入者のみで有意な差がみられた
- ・転入者の「ずっと区内に住み続けたい」割合は、「既婚・18歳未満の子と同居」が最も高い
- ・「既婚・子と同居なし」の居住者の「ずっと区内に住み続けたい」の回答割合は、転入者と比較して1割以上高く、「未婚・子と同居なし」の居住者の同割合は、転入者と比較して2割程度高い

図表 2-100 は、世帯類型と定住意向のクロス集計結果である。転入者のみで有意な差がみられた。

転入者について、「ずっと区内に住み続けたい」をみると、「既婚・18歳未満の子と同居」が 42.62%と最大の値を示し、次いで「既婚・子と同居なし」は 40.00%、「未婚・子と同居なし」は 26.51%となっている。

参考値であるが、居住者の「ずっと区内に住み続けたい」をみると、「既婚・子と同居なし」が 52.73%となっており、転入者と比較すると 10%以上高い割合となっている。また、「未婚・子と同居なし」が 44.12%となっており、転入者と比較すると 20%程度高い割合となっている。

図表 2-100 世帯類型別定住意向
【転入者】 (参考値) 【居住者】

8 区政への意見（自由記述）

本節では、「本調査や港区政についてご意見等ございましたら、ご自由にお書きください」という設問に対する回答を、回答の内容ごとに18項目（A～R）に分類し、項目ごとの回答数・回答割合及び項目ごとの回答を掲載した。

（1）項目ごとの回答数・回答割合

- ・転入者は、令和元年度、令和5年度ともに、「環境」と「交通安全・交通利便性」に対する意見が多い
- ・居住者は、令和元年度、令和5年度ともに、「環境」に対する意見が多い
- ・転出者は、令和元年度、令和5年度ともに、「子育て・育児」「区役所・職員に関すること」に対する意見が多い

転入者、居住者、転出者の回答を合計した分類項目ごとの回答数と回答割合は図表2-101のとおりである。なお、分類項目別回答数の合計は、1つの回答を複数の項目に分類して集計している場合があるため、全体の回答数と一致しない。

令和5年度は、「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」に対する意見が最も多く（「その他」を除く）、30件（全体の14.49%）となっている。次いで、「子育て・育児」は23件（11.11%）、「区役所・職員に関すること（行政サービス全般）」は22件（10.63%）となっている。

令和元年度は、「交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）」に対する意見が最も多く（「その他」を除く）、49件（全体の18.77%）となっている。次いで、「区役所・職員に関すること（行政サービス全般）」は39件（14.94%）、「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」は36件（13.79%）となっており、「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」と「区役所・職員に関すること（行政サービス全般）」は令和元年度と令和5年度のいずれにおいても上位3位以内となっている。

図表 2-101 本調査や港区政に対するご意見の項目ごとの回答数（FA）
【全体】

分類項目	令和元年度		令和5年度	
	回答数	回答割合 (%)	回答数	回答割合 (%)
A 高齢者・障害者福祉	9	3.45	2	0.97
B 子育て・育児	23	8.81	23	11.11
C 医療機関・健康	9	3.45	8	3.86
D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）	18	6.90	20	9.66
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	49	18.77	20	9.66
F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）	36	13.79	30	14.49
G 防災・生活安全	20	7.66	4	1.93
H 教育（図書館も含む）	10	3.83	16	7.73
I スポーツ・文化・芸術	12	4.60	0	0.00
J 買い物・物価・飲食店	20	7.66	19	9.18
K 家賃・住宅	22	8.43	8	3.86
L 国際化・国際交流	8	3.07	5	2.42
M 区役所・職員に関すること（行政サービス全般）	39	14.94	22	10.63
N 税・保険料	8	3.07	8	3.86
O その他	69	26.44	45	21.74
P 産業・コミュニティ	—	—	8	3.86
Q デジタル化・情報発信	—	—	8	3.86
R 子どもがいない世帯（単身世帯、夫婦のみ世帯）への支援	—	—	5	2.42
全体回答数	261		207	

次に転入者についてみると、令和5年度は、「交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）」に対する意見が最も多く（「その他」を除く）、11件（全体の15.71%）となっている。次いで、「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」と「買い物・物価・飲食店」はそれぞれ9件（12.86%）となっている。

令和元年度は、「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」に対する意見が最も多く（「その他」を除く）、26件（全体の36.62%）となっている。次いで、「交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）」は19件（26.76%）、「家賃・住宅」は16件（22.54%）となっており、「交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）」と「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」は令和元年度と令和5年度のいずれにおいても上位3位以内となっている。

図表 2-102 本調査や港区政に対するご意見の項目ごとの回答数（FA）
【転入者】

分類項目	令和元年度		令和5年度	
	回答数	回答割合 (%)	回答数	回答割合 (%)
A 高齢者・障害者福祉	0	0.00	1	1.43
B 子育て・育児	6	8.45	5	7.14
C 医療機関・健康	1	1.41	3	4.29
D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）	9	12.68	5	7.14
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	19	26.76	11	15.71
F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）	26	36.62	9	12.86
G 防災・生活安全	13	18.31	0	0.00
H 教育（図書館も含む）	1	1.41	7	10.00
I スポーツ・文化・芸術	2	2.82	0	0.00
J 買い物・物価・飲食店	13	18.31	9	12.86
K 家賃・住宅	16	22.54	0	0.00
L 国際化・国際交流	3	4.23	1	1.43
M 区役所・職員に関すること（行政サービス全般）	11	15.49	6	8.57
N 税・保険料	8	11.27	1	1.43
O その他	21	29.58	13	18.57
P 産業・コミュニティ	—	—	3	4.29
Q デジタル化・情報発信	—	—	4	5.71
R 子どもがいない世帯（単身世帯、夫婦のみ世帯）への支援	—	—	3	4.29
全体回答数	71		70	

居住者についてみると、令和5年度は、「まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）」に対する意見が最も多く（「その他」を除く）、13件（全体の16.05%）となっている。次いで、「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」は12件（14.81%）、「子育て・育児」は9件（11.11%）となっている。

令和元年度は、「交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）」に対する意見が最も多く（「その他」を除く）、31件（全体の34.83%）となっている。次いで、「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」は18件（20.22%）、「防災・生活安全」は11件（12.36%）となっており、「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」は令和元年度と令和5年度のいずれにおいても上位3位以内となっている。

図表 2-103 本調査や港区政に対するご意見の項目ごとの回答数（FA）
【居住者】

分類項目	令和元年度		令和5年度	
	回答数	回答割合 (%)	回答数	回答割合 (%)
A 高齢者・障害者福祉	3	3.37	1	1.23
B 子育て・育児	9	10.11	9	11.11
C 医療機関・健康	1	1.12	1	1.23
D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）	8	8.99	13	16.05
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	31	34.83	6	7.41
F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）	18	20.22	12	14.81
G 防災・生活安全	11	12.36	3	3.70
H 教育（図書館も含む）	10	11.24	7	8.64
I スポーツ・文化・芸術	2	2.25	0	0.00
J 買い物・物価・飲食店	5	5.62	8	9.88
K 家賃・住宅	8	8.99	4	4.94
L 国際化・国際交流	1	1.12	2	2.47
M 区役所・職員に関すること（行政サービス全般）	8	8.99	5	6.17
N 税・保険料	1	1.12	4	4.94
O その他	17	19.10	14	17.28
P 産業・コミュニティ	—	—	4	4.94
Q デジタル化・情報発信	—	—	3	3.70
R 子どもがいない世帯（単身世帯、夫婦のみ世帯）への支援	—	—	2	2.47
全体回答数	89		81	

注：令和元年度の居住者は、転居者（港区内から港区内に引っ越した人）を比較対象としている。

転出者についてみると、令和5年度は、「区役所・職員に関すること（行政サービス全般）」に対する意見が最も多く（「その他」を除く）、11件（全体の19.64%）となっている。次いで、「子育て・育児」と「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」がそれぞれ9件（16.07%）となっている。

令和元年度は、「区役所・職員に関すること（行政サービス全般）」に対する意見が最も多く（「その他」を除く）、24件（全体の23.76%）となっている。次いで、「子育て・育児」は16件（15.84%）、「交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）」は14件（13.86%）となっており、「区役所・職員に関すること（行政サービス全般）」と「子育て・育児」は令和元年度と令和5年度のいずれにおいても上位3位以内となっている。

図表 2-104 本調査や港区政に対するご意見の項目ごとの回答数（FA）
【転出者】

分類項目	令和元年度		令和5年度	
	回答数	回答割合 (%)	回答数	回答割合 (%)
A 高齢者・障害者福祉	6	5.94	0	0.00
B 子育て・育児	16	15.84	9	16.07
C 医療機関・健康	8	7.92	4	7.14
D まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）	6	5.94	2	3.57
E 交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）	14	13.86	3	5.36
F 環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）	7	6.93	9	16.07
G 防災・生活安全	3	2.97	1	1.79
H 教育（図書館も含む）	0	0.00	2	3.57
I スポーツ・文化・芸術	8	7.92	0	0.00
J 買い物・物価・飲食店	4	3.96	2	3.57
K 家賃・住宅	1	0.99	4	7.14
L 国際化・国際交流	5	4.95	2	3.57
M 区役所・職員に関すること（行政サービス全般）	24	23.76	11	19.64
N 税・保険料	0	0.00	3	5.36
O その他	31	30.69	18	32.14
P 産業・コミュニティ	—	—	1	1.79
Q デジタル化・情報発信	—	—	1	1.79
R 子どもがいない世帯（単身世帯、夫婦のみ世帯）への支援	—	—	0	0.00
全体回答数	101		56	

（2）回答一覧

図表 2-105 は、令和5年度の具体的な回答である。自由回答の掲載に当たっては、回答者の意見を尊重するとともに、調査結果を区の具体的施策に役立てるために、肯定的なものも否定的なものも偏りなく掲載することとした。原則として回答者が記入した原文のまま掲載しているが、誤字脱字等は読みやすさを考慮して修正した。また、回答者、個人、地名等の特定を避ける必要がある場合は、趣旨を変えずに回答の一部を変更または削除して掲載した。

図表 2-105 本調査や港区政に対するご意見（FA）
【高齢者・障害者福祉】

内容	回答者属性
精神障害者在宅手当を以前の住まいでいただいていたので助かっていました。こちらでもおねがいできればと思います。	転入者
介護と幼児保育の一体化も検討いただきたい。	居住者

【子育て・育児】	
内容	回答者属性
転入直後、保育園に入園できず、あいぽーとの一時保育に預けたのですが、手当等無く、家計の負担がとて多くて辛かったです。今後の改善を期待します。	転入者
子育てについての支援が非常に充実していてありがたいですが、今後かかってくる教育費や物価の高騰、ローン残高を踏まえるとまだ不足していると感じ、転出も検討しております。今後も区としてのサポートをより増やしていただけるとありがたいです。	転入者
港区に限ったことではありませんが、保育士さんの待遇が労働の対価に見合っておらず、すぐ辞めてしまうと聞いています。本当の意味で子育てのストレスを減らすのであれば、保育士さんの処遇を上げ、安心して預けられる環境づくりにお金を使った方が良いのではないかと考えます。	転入者
出産、不妊治療にかかる費用の助成を増やしてほしい。また子育て世帯へのサポートを厚くしてほしい。	転入者
子育て世代、自分の親にあたる世代、どちらにもとても良い環境で感謝しています。子どもの給食は食育の面でもとても良い環境だとかんじてます。	転入者
子育てがしやすい街づくりを期待しています。	居住者
港区としての子育て支援の充実を更に力を入れてほしいです。	居住者
区役所のサービス水準高く、子育てのサポートも充実しており大変満足しています。	居住者
現状教育環境に満足していますが、子供手当など子育て支援を更に充実していただけると助かります。	居住者
70平米超の住宅（マンション）かももう少し多くて、子供の多いファミリー層に賃貸優遇してくれると、選択肢が増えて嬉しい。子供部屋がどうしても必要になる期間の10年ほどで良いので。このままだと適した住まいが見つからず、港区を出ないといけな状況なので、早期に御検討お願いします。	居住者
子どもから、20歳のつどいについて、有意義な内容とは感じられなかったとのこと。	居住者
親がガンで、妊婦でフルタイムで働いていた時の複数人目の子の出産時、保育園が月8万円の無認可に入れていた時に、上と同じ公立に入れたありがたさを実感。今は恵まれてると思う。	居住者
福祉や育児など充実していて暮らしやすいと思います。	居住者
フルタイムで働くご両親のお子さんしか保育園に入れなかったり、学童クラブに入れなかったりと、子育て中のパートタイマーには非常に厳しい環境です。なんとか改善して頂きたい。	居住者
子どもの私立小進学タイミングもあり転居しました。できればずっと住み続けたかったです。港区での子育ては大変充実していたといつも思い返しています。	転出者
港区は病院など充実していて非常に子育てしやすかったです。	転出者
高齢者の意見に押されて子供達が遊ぶ環境が減っていることが残念	転出者
港区は行政サービス、保育サービスがいい。	転出者

港区はひとり親世帯や低所得世帯に対しての手当てが充実していたので、とても住みやすく助かりました。 ありがとうございました。	転出者
妊娠を機に港区から転出しましたが、もっと出産・育児に（コスト的に）優しい町なら居たかったです。	転出者
港区は出生率が23区内2位や、国が動く前から不妊治療に補助金を出すなどして先駆的な事業を行って来ていたと転出してからしみじみ実感することがあります。妊娠・出産に関しては手厚いですが産みたい女性が出産に至るまでに（結婚?!）に関して何か策を希望します。女性の社会進出が言われ、社会に出るとそれなりに責任のある事に対峙する事が多いですし、その分野での研修や勉強が次々に来ます。結婚・出産したいと思ってもできない人は多いと思います。そうしている間に疾患に罹患することもあります。知り合った女性は乳飲み子を抱えて仕事は無理と言っていました。労働力不足で女性が社会進出を、と言われていいます。でもその労働する事で精神的にも肉体的にも疲労してしまい、産みたい希望がある女性が産めない世の中になっていると思います。ますます人口減少に歯止めが利かなくなり負の連鎖になっていると思います。出産にはリミットがあるので産みたい女性が産める世の中になって欲しいと思います（社会進出している女性も沢山いますし。妊娠・出産だけじゃない制度）。	転出者
もっとふつうの母子家庭に優しい環境を！！	転出者
子育てもしやすい住みやすい港区がとても好きでした。	転出者

【医療機関・健康】

内容	回答者属性
概ね満足している（毎年のがん検診やワクチンの助成等これからも行政としてスピード感をもって運営して行っていただきたい）	転入者
難病手当が頂ける事がありがたいです。	転入者
ヘルシーナのシャワールームのカビがすごい。取れないんでしょうか。	転入者
いつも介護・医療で大変お世話になっております。ありがとうございます。	居住者
新型コロナワクチンの接種の推進を直ちにやめるべき シェディングによる被害が増えてこれからターボ癌、プリオン病の患者が増えて行政が成り立たなくなる 中央政府から独立して、主権のある地域行政を行うべきである	転出者
港区のがん検診で乳がんが見つかり早期発見できました。手術も無事に終わり、ありがとうございました。少し休んだら復職予定です。私のような事も含めまして、今後も健康維持などには努めて行って欲しいと思います。	転出者
がん検診や医療機関の充実さは安心感がありました。	転出者
健康診断の充実もありがたいものでした。	転出者

【まちづくり・景観（公園・バリアフリーも含む）】

内容	回答者属性
広尾駅のエレベーターを増やしていただきたいです。	転入者
子供達が安心して遊べる公園や場所を増やしてほしい。	転入者
ビルを建てるのをやめてほしい。（高層マンション） 土地開発もやめてほしい。	転入者
景観、街並みの維持をお願いします。	転入者
高輪口近くに郵便局がなくなり非常に不便なので、仮施設でも作ってもらえると助かります。	転入者
公園や街路樹の整備など住環境の充実にさらに取り組んで欲しいと思います。	居住者
公園をもっと増やして、ペットが住みやすい環境も作って欲しい。	居住者
再開発でタワーマンションを周りの生活インフラを考慮せずに増やしすぎていると感じます。タワマンに頼らない都市開発をお願いしたいです。	居住者
高輪エリアは静かなところが気に入っています。再開発で色々な人が行き交うことに少し不安があります。充実した行政は大変素晴らしいのでクオリティーは維持してもらえると嬉しいです。	居住者
港区は小さい頃から住んでいるのでとても安心して暮らせますが、たくさん高いビルを建てるのはやめてほしいです。よろしくおねがい致します。	居住者
高層マンションが乱立しているように見えます。日照にも影響していますし、景観としてもあまり美しく見えません（計画性や統一性が一切見られない為）。改善を期待しています。	居住者
高層マンションの乱立により、港区の魅力の1つである環境/まち並みがい分と悪化し、住人が急激に増えるエリアが出現し、渋滞や住みずらさの要因と感じている。建築物の規制を見直し、これからの価値感を反映し、港区の良さを後世に残してほしい。	居住者
外苑前の再開発は、規制をかけて緑を残して欲しい	居住者
高層マンション乱立による問題を正視し規制して頂きたい。特に環境問題並びに外国人による実需を伴わない投機的マンション購入。	居住者
近年、高層建築物の乱立が顕著で住環境として悪化しています。景観や緑化に配慮したより計画的な街並みの維持を期待します。	居住者
住宅（マンション建設）供給と公共施設の準備は、後手後手にならないようしっかり街づくりをして欲しい。	居住者
あちこちで再開発が行われていて、車での移動や歩行時も気を使うことが多いです。完成時のビル（高層）がそり立つ姿を見たいと思いつつもおそろしくもあります。見苦しい街並みになりそうで。	居住者
広い公園が欲しい。子供が自由に遊ぶ、自転車を練習する広場もないし、自転車があぶなくて乗せることができない。	居住者
緑化などを希望（神宮外苑の木々保護を含む）	転出者
外苑銀杏並木は残して欲しいです。	転出者

【交通安全・交通利便性（バス、自転車、道路、電柱等）】

内容	回答者属性
海岸エリアにすんでいます。スーパー（安め）が遠く、バス便やレンタルサイクルが少ないため不便を感じます。	転入者
ちいばすが高輪エリアには少ないので六本木のように充実させて欲しい。	転入者
土地が狭い、道路が狭い、歩道が狭い、歩いていても歩道が狭くてストレスを感じる	転入者
リニア新幹線の開通も見越して転居しましたので、少しでも早くリニア新幹線を開通させていただきたいです。	転入者
大通り（青山通りなど）で、自転車のレーンに車が多く止まっており、自転車を乗る側がルールを守っていても、危険な目に合っている。（よけて道路中心を走行する為） パソナビル（旧avex）前など。外苑～表参道までとくに。	転入者
駐車場が少ないと感じます。	転入者
天王洲アイルと浜松町の間に駅をつくってほしい。	転入者
港南エリアから田町駅まで迂回せずに行けるちいばすのルートをつくってほしい。	転入者
自転車の通行マナー向上。麻布十番商店街の特に子供を乗せた電動自転車が本当に怖いです。	転入者
ちいばすも便利です。	転入者
ちいばすは、65才以上を無料にしてほしい。	転入者
車道における自転車レーンも整備してほしいです。	居住者
赤坂地区と芝地区の交通の便がもう少し良いと助かります。	居住者
高輪地区は交通機関、日常買い物、飲食店、また景観もよくない	居住者
高輪ゲートウェイ駅に港南側出口がなくて残念です。	居住者
道路（主として自動車の交通量の多い道）の拡幅をお願いします。	居住者
交通の便がとてもよいです。	居住者
港区は運転マナーの悪いドライバーが多かった。麻布周辺の狭路は怖かった。来年以降また港区に住みたいと考えています。	転出者
家庭の事情で港区をはなれることになりましたが、交通の便が良く大変住みやすかったです。（高輪ゲートウェイ駅ほか）	転出者
現在夫の仕事の関係で港区以外にも半々くらいで住んでおります。港区には港区の地方には地方の良さがありますが、港区に住んでいた時の利便性には勝りません。	転出者

【環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）】

内容	回答者属性
害虫対策（ゴキブリ）を区で実施できる場合実施頂きたいです。夏場に田町駅から愛育病院方面への道にゴキブリが多く夜間歩きたくないです。道路の清掃などいつも頂きありがたいのですが、害虫対策についてもよろしく願いいたします。	転入者
人が多すぎる。子どもが多いのはいいが、サイレンうるさい。	転入者
治安やバイクの騒音に気になることがあります。	転入者
赤坂は住んでみるととにかく汚いとわかりました。歩けば吸いがら、ゴミがそこら中に落ちています。ゴミ拾いとか企画して頂いたら参加します。もう少しきれいになってほしいです。前に住んでいた地域と赤坂との差におどろきました。	転入者
ゴキブリが多いのが困る。マンションのゴミ置場でも、何度も出てお願いしても聞いてくれず、きちんと、整理することができない。	転入者
マンションのベランダや、有栖川公園などでの、大量のハトをなんとかしてほしい。ハトへのエサやりを禁止してほしい。汚い。迷惑である。	転入者
レインボーブリッジの騒音規制を強化してほしい。	転入者
マンション周りで工事が多く、昼間の”音”の問題は、仕方ないと思いつつ、睡眠時間帯が遅い起床では、つらい。震動も。	転入者
ねずみとゴキブリがあまりに多くておどろいています。芝の飲食店街で大きなネズミ2匹をカラスがついばんでいて怖かったです。赤坂六本木もいっぱいいます。白金にも大きいのいました。	転入者
汚い部分があるのが気になる。	居住者
田町に住んでいましたが、きれいで治安が良く本当に住みやすかったです。	居住者
路上喫煙、路上にごみのポイ捨てが非常に目立つ。対策してほしい。クリーンな港区であって欲しい。	居住者
3丁目にねずみが大量発生しています。（赤坂）駆除、飲食店ゴミ管理をお願いいたします。	居住者
歩きタバコと喫煙所外での喫煙が多いので喫煙ルールを厳格化してほしい。	居住者
最近工事が多くて騒音が酷いのと大規模開発でネズミが増えている。	居住者
リサイクルや資源回収にももう少し力を入れて頑張っていただきたいです。	居住者
（夜間バイク騒音何とかしてほしい。防音室物件が少なすぎる。。）お台場は空気も道もキレイで良いです。田町も大好きです。今後もお世話になります！	居住者
芝大門1丁目に住んでいますが、通りにゴミを捨てる人がいたり清潔感がなくなっている	居住者
麻布地区、とりわけ西麻布は周辺環境の悪化（飲み屋街化、治安の悪化、うるさいなど）により、住みにくい場所になってしまった。今の日本の法律では、周囲がうるさくなり住みにくくなると、昔から住んでいた人間がひっこしを余儀なくされることは残念である。近い将来、住民のいない街になっていくのだろうと思う。	居住者
南麻布の路上のゴミ（アルコールのパックや缶）、放置バイクや自転車、高架下川辺の汚なさにいつも気がめいています。区で解決していただければと思います。	居住者
公園に居る浮浪者とそのグッズ（ゴミ）の撤去を徹底して欲しい。	居住者

工事が多い。町が下水くさい時がある。	転出者
街が清潔！	転出者
港区（高輪）の通りはとてもきれいでした。 歩いている人も民度が高かったです。 いつかまた高輪に住みたいと思っています。	転出者
上空を飛行機が頻回に飛ぶのが嫌で港区から引っ越しました。千代田区は静かです。	転出者
環境保全にも取りくまれていて素晴らしいです。	転出者
空気が汚くバルコニーがすぐに真黒になった。水もおいしくなかった。健康にはよくない所だと思う。	転出者
以前麻布に住んでいたが、周りが飲食店が増えすぎて、深夜迄にぎやかで住居としての住み心地が悪化。 又、飲食店からのダクトの音や熱が不快	転出者
木を大切に良い町にしてください。	転出者
住んでいた地域は、とても静かで落ち着いた場所でしたので、大好きな場所でした。	転出者

【防災・生活安全】

内容	回答者属性
数年新橋に住み、職場も新橋ですが、治安が悪くなっていて住みにくい。犯罪が多い街になっている。	居住者
今後、災害が起こった場合、マンションでの被災に対しての避難はどうしたらよいかわからず不安。	居住者
防災が不安です。これ以上、港区にタワーマンションはいらない気がします。	居住者
建物にヒビ割れなど物件を探す時に危険を感じました。治安も子供が影で殴られている声が度々有りました。治安を良くして欲しいです。	転出者

【教育（図書館も含む）】

内容	回答者属性
図書館が赤坂駅近辺にあるといい。	転入者
ランドセルや制服はもう時代的にも必要のない習慣かと思います。海外から見たら変な文化ですし、個性を尊重していないと思います。教科書も是非タブレット化を進めて欲しいです。	転入者
港区の中学生の修学旅行ですが、議会では反対多数だが、情報が先にメディアに流れたと聞いています。1人あたり68万円で、そのほとんどが国内旅行であればかからないはずの燃油代や飛行機代だと思うのですが、費用対効果としてはいかがなものかと思います。 3年次には卒業アルバム代等の出費もありますが、68万円の中でそれも賄えると思いますし、また入学時に家計の負担となる制服代なども無償にすることも可能かと思われます。3泊5日、安全に配慮しての修学旅行は、団体行動がほとんどになるかと思います。どこに行っても楽しい年頃の思い出修学旅行において、シンガポールに数日滞在することで著しく国際感覚が身に付くとは到底思えません。パスポートの手続きなども大変時間がかかり、保護者、生徒ともに時間的にも負担となります。再考をお願いいたします。	転入者
修学旅行でシンガポール…区税のムダ使いなので転出したい。	転入者
中学校の修学旅行がシンガポールになったそうですが、税金のムダ、お金のムダです。国内には、素晴らしい日本の風景・国土、そこに住む人々がいるのだから、国内にすべき。	転入者
日頃大変お世話になっております。以前住んでいた渋谷区と比較して住みやすさを感じて気に入っており、皆様のおかげと感謝しております。 先日、公立中学の修学旅行が海外でその補助を区がだしている聞いて、周りの主婦の間ではかなりの話題になっております。他の区にお住まいの方々から何故？と疑問の声をたくさん聞きます。私は、自分この内容について調べてないのですが、調べてもすでにどうにもならない話ですし、聞いた中での話を元となりますが。 何故そのような企画され、遂行されたのか？理解できない区民は大勢いると感じます。経済力がないから区立に行く、経済力があるから私立ということは、港区では全く当てはまりません。修学旅行は学ぶ所なので日本の中で沢山候補はあると思います。なぜ、海外なのか？費用をだすのか？ 逆に、私立では、家庭の事情が様々だから修学旅行が国内にと気を使う事があります。 この様な補助ならば、子供全員に一律の補助をして頂き、特別に救済が必要なご家庭には補助をすればよいかと。私も周りの親も考えています。よかったねという親御さんの意見は一つも聞いてないです。 今後毎年やるのですか？	転入者
渋谷から転入しましたが、港区のサービス 施設（図書館）など満足しています。	転入者
公立学校の質の向上があるとよいです。	居住者
小学校教員の質の改善、民間企業での経験者の採用などを希望します。	居住者
シンガポールは中学を選ぶ前に発表してほしかった。	居住者
インターナショナルのスクールに通っている子供に、公立の在席をみとめてほしい。	居住者

日本語が話せる方と一緒にシンガポールへ旅行しても英語は身につけません。わたしは一人で海外へ行き習得しました。しかも先進国へ修学旅行させるのは無意味です。そんなことに税金を使われるなんて本当にガッカリしましたので、他の地域へ引っ越すために土地探しをしています。	居住者
直接こちらへの意見ではないのですが、高校以降の教育費を非常に心配しております。軽減対象にもならず、手取り等を鑑みますと非常に不安です。	居住者
港区立の中高一貫校を作ってほしい	居住者
校庭がせまかった。	転出者
○港区立中学校の修学旅行にシンガポールに行くという案件が出ていますが、私は時期尚早だと思います。コロナも終わり外国人観光客も戻ってきています。港区は大使館が多いことから外国人と街で出会うことが多いですし、大使館が色々な催しを開催していることもあり触れる、学ぶ機会は他の地域に比べて多いと思います。 修学旅行の団体で行動していたら日本語だけで事が済んでしまいますし、各生徒40万円の税金を利用してまで行く費用対効果の必要があるのでしょうか？！ 武井区長は「海外の現地で対話する経験を味わい、言語の重要性に対して認識を深める」と話されますが、集団行動ではなかなか対話する機会は少ないと感じます。私自身も団体行動では話す機会は無かったですし、またテンプル大学の国内留学体験制度の半分助成（20人ですが）もしているので良いと思います。それよりも日本語・国語力を正しく理解する力が必要で、それを土台にすれば英語も理解しやすくなり、他の教科も伸びます。国語力は生きる上での土台だと思うからです。 「港区は、生活困窮のご家庭の学習支援事業として、中学生、高校生を対象に無料学習支援を実施している」とありましたが、小学生・高学年からではどうでしょうか？！分からないことは早めに解消していないとどんどん学校の内容が入らなくて勉強が面白くない、と思ってしまうし。少しでも少なくしていった方が学校の授業は面白いと思えると良いな、と思います。 一人一人の基礎学力を高めていけたら職場で外国人と触れ合う機会がある、収入があれば自分で海外に行ってみよう、となる。港区で歩いていたら外国人と触れ合う、英語で会話する機会も他の地域に比べて多いと思います。私自身も社会人になってから独学で英語を勉強しています（私も道に迷っている外国人に声をかけて英語のブラッシュアップをさせて頂いていました）。 自分の収入で海外に行って感じて学んでからの方がより色々と感じることが多いと思います。	転出者

注：スポーツ・文化・芸術は、該当する意見がなかったため、表を掲載していない。

【買い物・物価・飲食店】

内容	回答者属性
新橋周辺でスーパーが少なく不便です。	転入者
もっと大きいスーパーが多くあったら嬉しいです。 飲食店が少ないので増やしてほしいです。	転入者
港区に手軽なスーパーが少ない、渋谷区のスーパーに通っている	転入者
大きなスーパーマーケットが近所にほしい。	転入者
大型スーパー（鮮魚等ある）を神谷町にお願いします。子の食事が作れません…。	転入者
六本木にも家電屋があるとべんり。20年くらい港区にすんでいますが、満足です。	転入者
大型スーパーが少ないので、食料品や日用品の買い物に困ります。	転入者
飲食店は充実しているが、買い物環境が不満、銀座まででないといけないのが面倒、女性も行けるサウナがほしい	転入者
スーパーが少なくて買い物はしづらいです。 スマイル券購入しても地域により、使いどころがない。高輪地区。	転入者
ニトリなどのホームセンターがあると便利だなと思いました。 また、本屋が他の街より少し少ない印象なので、大きい本屋（レンタルコミックなどがある書店）がたくさんあるとありがたいです。	居住者
日常的な買い物環境が悪すぎるので電車で渋谷まで行っています。（特に食料品） スーパーをふやしてほしいです。	居住者
家賃や住宅価格は高いが港区での暮らしの満足度は高いです。田町駅周辺は庶民的な買物施設も充実してきました。	居住者
港南エリアに日用品を購入するドラッグストアが無く不便だとずっと思っています。ファミリー世帯が多いのに何故充実していないのかが不思議です。	居住者
安いスーパーマーケットが出来てほしい。	居住者
高齢者には、安いスーパーが少なく困っています。	居住者
近くにイトーヨーカドーのようなスーパーがあるとうれしい （食品、日用品、衣料品全てそろうスーパー）	居住者
大型スーパーが少なく生活していく買物が不便	居住者
スーパーの品ぞろえが少なかった。	転出者
赤坂は、子供の日用品を買える場所が少なく、ネットショップだよりになる。	転出者

【家賃・住宅】

内容	回答者属性
ずっと港区に住みたいが家賃や収入の関係で引っ越さざるをえない状況です。昨年の低所得者向けへの現金支給などの制度がまたあると助かります。	居住者
家賃は高いですが、とても住みやすいです。	居住者
駅が少し遠く、家賃は高く感じました。	居住者
地価上昇も著しく、生活を圧迫しています。	居住者
子どもの成長に応じて広い部屋(2LDK以上、60平米以上)を選ぶとなると価格的に港区は難しかったです。	転出者
コロナでホテルが安くなり、good roomというサブスクを利用し、港区のホテルに住んでいました。住民票もおいていました。値上がりして、¥80,000→¥140,000、住めなくなり、目黒に移りました。本当はずっと、港区にいたかったです。また戻りたいと思います。	転出者
生活は便利だったが、家賃が高く仕事を辞めると転出せざるを得なかった。	転出者
家賃が安ければまた戻りたいと思います	転出者

【国際化・国際交流】

内容	回答者属性
多国籍の人が住んでるエリアなので、行政などでの案内は英語だけでなく、複数言語のパンフレットなどがあると良い。	転入者
不法滞在外国人の排除の徹底をお願いします。	居住者
国際都市にふさわしい長期的な魅力を区の政策に入れて欲しい	居住者
身内に外国籍の者がいるので英語での案内（ワクチン接種など）が助かりました。	転出者
外国人を転入させて社会環境の質を下げるのだけは止めてください。	転出者

【区役所・職員に関すること】

内容	回答者属性
行政サービスが行き届いている印象です。区役所の窓口対応も丁寧・迅速で満足しております。（夜間の営業時間を伸ばしていただけると更にありがたいです）	転入者
区民へのサービスをより一層充実して頂けると幸いです。	転入者
いつも区政に感謝しています。	転入者
港区の行政は行き届いており日本でトップクラスだと思う	転入者
今までに住んできた他区の中で1番サービスが充実していて驚いています。ありがとうございます。	転入者
住民票や印鑑証明が無料は、非常にありがたい。	転入者

港区民センターで親子で空手道場でたたみのある和室を利用させてもらっていた。あるとき突然「和室は空手の稽古に使用させられません」と排斥された。港区にまじめに納税しているにもかかわらず、あまりに港区民への提供するサービスへの排除がすごすぎると感じた。もう少し、区民に対し、思いやりのある行政サービスをしてもらえるとありがたいと思いました。	居住者
人に注力する区を目指して欲しい。	居住者
港区に転入してから、歯科検診や災害へのサポートなど行政からの支援制度の充実を感じ、利用させていただいており、感謝しています！	居住者
図書館やスポーツセンター等の施設はとてありがたいです。ありがとうございます。	居住者
港区運動場の運営方針を改善していただきたい。 担当する方によって対応が違いすぎます。宜しくご対応お願い致します。	居住者
他の地域に住むようになり、港区の行政サービスの手厚さを改めて確認できた。（証明書発行や施設など）	転出者
札幌市と違い、行政サービスが充実していた。	転出者
港区の行政サービスは他の区域と比べてとても充実しており満足度がとても高いと思います。現在は港区外に住んでいますが、将来は港区に戻りたいと思っています。これからも住みたいと思える行政サービスの継続をお願いします。	転出者
区役所は親切でした！	転出者
非常に利便性のすぐれた自治体と思います。	転出者
港区は支援センターの充実など、離れて知ったありがたさがけっこうありました。	転出者
仕事の関係で、港区民になりました。 行政サービス（毎年の医療検診、地震対策備品の補助、等）が良く、又住みたいです。	転出者
区役所の案内対応がとても良かったです。親切でした。ありがとう。	転出者
港区本庁は、職員のレベルが高いと感じますが、支所は場所によって、知識もなく向学心というかプロ意識の低い窓口担当者などがいらして、本庁との質のギャップにはたびたび驚かされました。	転出者
北区に転入しましたが、区役所の方について、港区役所は少し感じが悪いと感じました。北区役所の方々はとても対応も早く、感じもとても良いです。	転出者
行政の対応も良く、現在の居住地と比較すると違いが良くわかり、さすが港区だなと感じます。もっと住んでいたかったと思っています。	転出者

【税・保険料】

内容	回答者属性
渋谷区のように返礼品のあるふるさと納税をやるべき	転入者
港区の税金の行先がおかしい。	居住者
減税をお願いします。	居住者
アンケート調査が多いが、依頼もペーパーレスにする等 税金の使い方、環境への配慮を検討していただきたい。	居住者
この調査に関して何が目的なのか意図がよくわからない。税金のムダ使い。この様な無駄なものに住民税などを使ってほしくない。	居住者
住まざるを得ない状況になり、住んでいました。特に港区の恩恵？のようなものは感じられませんでした。住民税が高い。仕方ないとは思いつつ、今も払っているので首を絞められています。	転出者
港区は税金が高い。 お高いイメージがついてて、女性は特に鼻につく。 江戸時代から築き上げた東京とはかけ離れている。	転出者
税収で潤っているのだから、税金を払っている我々から住民票などの手数料を巻き上げるのはやめろ。率先して廃止できるはずだ。手続作業料だと主張するとしても、1通10円がMAXだろう。その情報は我々個々の所有物であって、君らが商売に使う材料ではない。	転出者

【その他】

内容	回答者属性
お役立て下さい	居住者
一緒に住んでいる人に関するアンケートの選択肢が各所に配慮されていることはユーザー目線からすると良いポイントだと思うが、特定の人には配慮されてない部分だと感じる。 田町はオフィス街とも言われているかと思います。 一人暮らしの方も自分以外で周りに数多くいる中で、そういった方がこのアンケートを答える際に選択肢が多く、回答するのをめんどくさがる人もいると思うので一人暮らしですか？はい・いいえで答える質問があってもいいと思った。	転入者
今後もお世話になります。よろしくお願い致します。	転入者
アンケート調査の成果物、楽しみにしております。	転入者
これからも港区で子供を育てたいと思ってます！	転入者
高級マンション、高級ホテル、外国人金持ちが必要	転入者
地区のブランド力が高いがゆえに、住んでいることを人に言いづらいときがある	転入者
くらしやすいと思います。	転入者
住み易い区です。有難うございます。	転入者
アンケート調査は手間がかかるので勝手に送りつけてこないで下さい。	転入者

引越してきて非常に満足して過ごさせて頂いています。ありがとうございます。 コミュニティーに貢献できるように積極的に活動に参加してゆこうと思っています。	転入者
アンケートの目的と質問の出し方がわからない。考えた人が欲しい答を、求めているのが良くわかる。	転入者
返信用封筒に封印用のテープがあると助かる。	転入者
他行政地区に比較して福祉が充実していると思います。	転入者
港区居住歴が長い人に何か特典があればうれしいです。	居住者
法人税をテコ、介護福祉、子育て教育環境の向上を目的とした補助金の投入を期待したい。	居住者
子育てにおいて港区の方針等については大変満足しております。 その上で政治的な部分においては大きな不安もございます。 区民として、風通しのいい政治を希望します。 何卒よろしくお願い申し上げます。	居住者
なるべく協力したいが謝礼があっても良いと思う。 例えば港区まつりで使える無料券など…。	居住者
今とても満足しているので、キープまたさらなる向上をお願いしたいです。 (台場地区)	居住者
高齢者だけでなく働く世代への福祉を充実して欲しい。	居住者
こういった書面ではなくオンラインアンケートにして経費削減して下さい。	居住者
選択項目に不足があり、また選択数の制限によって適切に意見をできませんでした	居住者
いつもありがとうございます。引き続きよろしくお願い申し上げます。	居住者
このアンケート内容でいったい何を集計・統計したいのか、何に役立てたいのかよくわからない項目が多い。	居住者
内容がかからない もっとかたんに	居住者
プライバシーに踏み込んだ内容で驚きました。	居住者
港区のブランド力、これが一番です 世田谷区から転入しましたが、シングルのキャリア人材にとって住みやすさはNo.1だと思います	居住者
また港区に住みたいです。	転出者
嫌いじゃありませんでした。さようなら	転出者
港区のほうが圧倒的にくらしやすかった	転出者
生まれてから今までお世話になりました。	転出者
またいつか港区に戻りたいです。その時はよろしくお願いいたします^_^	転出者
転出の最大の要因は気候です。	転出者
港区は非常に住みやすい街でした。 転出しましたが、いつか戻りたい場所です。	転出者
居住者の雰囲気も悪くはない。金銭的に余裕があれば港区に戻りたいと思う！	転出者

港区は、住みやすい街です。	転出者
自動車を所有しない方のために奨励金システムを作成して下さい。	転出者
アンケートに少しでも謝礼があった方が良い。	転出者
港区には30年以上住んでいましたが、とても生活しやすいと感じています	転出者
麻布十番にてお世話になりました！ありがとうございました。	転出者
港区には、たくさんお世話になりました。 有難うございました。またもどってきたいです。子供は港区大好きといっています。	転出者
調査の意図が分かりにくかった。	転出者
現在、単身赴任中なので、回答の選択肢に迷うところがありました。港区内に自宅があるので、2～3年で戻ります。ますます住みよい街になっていることを期待しております。	転出者
とても良い区でした。また機会があったら住みたいです。	転出者
4～5年後に港区に戻るか、現在の居住地に定住するか悩んでいます。	転出者

【産業・コミュニティ】

内容	回答者属性
見て見ぬふり、知っているのに知らないふりをしない“まちづくり”お願いいたします。	居住者
地域活性化がんばってください	転入者
区民センターのホールを利用しようとして、在住団体登録をしましたが、抽せん申込の時点で既に土日祝が全て予約済になっています。町内会名ギで押さえるなど不適切な運用がなされているのではと思いますが、改善を望みます。せっかく在住団体登録をしたのに、残念です。	転入者
サラリーマンですが、将来起業をと考えています。そのためのサポートが見つけやすい環境ができると嬉しい。(web等で)	転入者
地域コミュニティを活発にさせるべく、高齢者と子供との交流可能な施設の建設、地域イベントの積極開催を期待したい。	居住者
私は自営業のかたわら、ボランティア活動やっていますが、港区は、とてもボランティア活動がさかんで、施設も充実しています。	居住者
問13が記入しづらかった。 タワーマンションが多すぎて、街の様子もかわりました。町会も入ってくれませんかし…	居住者
港区のイメージは、高収入の方が住むorタワマン族(家族)のイメージが強いですが、1人暮らしの方も多いと思うので、家族と1人暮らしが交わるイベントや催し(気楽なもの)を増やすといいかもです。	転出者

【デジタル化・情報発信】

内容	回答者属性
田町に住んで半年たったが、地域で行われる祭りなどの町おこしイベントが複数行われてきたと思うが、当日にならないと気づかないことが多かったのもう少し周知に力を入れてもいいと思う。 あまり田町を知らない人でも足を運ぶコンビニやスーパー、駅前などにポスターを貼るなどの活動をしてほしいのかなと思いました。	転入者
行政サービスや制度について分かりやすいHPを作るなどのPR活動に取り組んで欲しい。良い制度があっても、認知されなければ意味が無いため、発信して欲しい。	転入者
子育て広場が充実していて助かります。補助も充実していますが、こちらが調べなくても行政の方から案内が来るようにして欲しいです。	転入者
荒川区では広報誌が月2回投かんされて、よくその情報を元に、イベントなどを申し込みました。港区も欲しい。	転入者
港区wifi作ってほしいです	居住者
デジタルが不得意で、以前のような人とのつながりも感じられないでいます。デジタル社会が最優先の今、疎外感が強く孤独ですが、苦手を変えられません。そういう人間もいて、生きていかなければならないという事をわかってもらいたいです。「多様性を認めるとか配慮を…」と言うが、苦しい思いをしている人を理解しているのか？現実をよく見て考えて決めていただきたいです。	居住者
再開発の情報を区民に伝えてほしいです。	居住者
港区に長年住み、シニアライフを考え、港区の住居を維持しつつ神奈川県海のそばにも居所を構えました。が、やはり全てにおいて港区の方が住民のために、というサービスが充実しており、港区に税金を払う価値がある、と実感しています。2拠点生活はもう少し続けますが住民票は港区に戻す予定です。強いて言えば高齢者向けのサービスが余り目立たないかなーと感じました。高齢者向けの窓口、もあると思いますが30代40代のうちに港区のシニアサービスにどのようなものがあるか、の案内周知がもっとあれば、港区に永年の居住をかまえたい！と思う若い世代の人たちが増えるのではないかなーと感じました。	転出者

【子どもがいない世帯（単身世帯、夫婦のみ世帯）への支援】

内容	回答者属性
子育て対策より、共働き世帯への支援をお願いします。	転入者
港区には働く単身者も多く住んでいると思いますが、実際どうでしょうか？ 子育て支援もヘルシーエイジングも重要ですが、東京都港区だからこそ、働く単身世帯(中年層)のことも考えてくださると、自治体として独自の成熟した魅力が増すと思います。	転入者
子育て等の施策も必要だが、独身で税金を納めている世帯にも何らかのメリットがほしい。子育てだけが生きているということではないので。	転入者
子育て世代だけでなく、シングルにもしっかりと行政サービスを充実させるべきだと思います。いまの区政は不公平だと思います。	居住者
単身者への施策も更にご検討ください。	居住者

9 示唆される課題と対応の方向性

本節では、集計結果の要点と示唆される課題への対応の方向性をまとめていく。

(1) 集計結果の要点

ア 全体的に「正社員」のほか、「法人の経営者」と「自営業主」の割合が高い

- ・いずれの居住属性でも、「正社員」のほか、「法人の経営者」と「自営業主」の割合が高い傾向にある（図表2-6-1）。
- ・「女性」の居住者は、「女性」の転入者及び転出者と比較して「正社員」の割合が低い一方、「法人の経営者、自営業主、家族従業者」「非正規社員」の割合が高い（図表2-7）。
- ・転出者のうち、「特別区（東京都23区）外」への転出者は「働いていない」割合が高く、「特別区（東京都23区）内」への転出者は「法人の経営者、自営業主、家族従業者」の割合が高い（図表2-9）。

イ 居住者は過去に想定したよりも在宅勤務・テレワークの頻度が高く、既婚・18歳未満の子と同居の転入者は全体より出社頻度が低い

- ・勤務先への出社日数は「週5日」が4～5割と、引き続き勤務先への出社が主である働き方の人の割合が高いものの、居住者のテレワーク・在宅勤務の日数は、令和3年度と令和4年度の調査回答者が予想したよりも「週に1日」以上の割合が高まっており、テレワーク・在宅勤務が定着している（図表2-11-1）。
- ・転入者は、子と同居していない人より「既婚・18歳未満の子と同居」の方が、「勤務先への出社日数」が「週に0～3日」の割合が高い（図表2-13）。
- ・転入者の「港区」での勤務割合は、「既婚・18歳未満の子と同居」の人が「未婚・子と同居なし」に次いで高い（図表2-20）。

ウ 未婚者は「いつか結婚したい」と回答した割合が高く、既婚者は、平均理想子ども数よりも平均予定子ども数の方が少ない

- ・転出者のうち、「特別区（東京都23区）外」に居住する人の「あなたの親」との同居割合は2割弱である一方、「特別区（東京都23区）内」に居住する人の同居割合は1割未満となっている（図表2-25）。
- ・転出者は、40歳代までの「あなたの親」との同居割合が1.5割程度である一方、50歳代以上の同居割合は1%程度となっている。世帯類型別にみると、「未婚・子と同居なし」の人の「あなたの親」との同居割合が高い（図表2-24、図表2-26）。
- ・いずれの居住属性でも、「未婚」の割合は「女性」の方が高い（図表2-28）。
- ・50歳代以上の「未婚」の割合は、転入者と転出者が1割強、居住者が2割強となっている（図表2-29）。
- ・いずれの居住属性も、「いつか結婚したい」と回答した割合が高い。また、居住者の結婚希望（結婚予定）が最も低く、「わからない」と回答した割合が最も高い（図表2-32-1）。
- ・「既婚者」はいずれの居住属性でも、平均理想子ども数よりも平均予定子ども数の方が少ない（図表2-33-2）。
- ・「未婚・子と同居なし」の人の理想子ども数が「0人」の割合は、居住者が最も高い（図表2-43）。

エ 港区に住むきっかけは「仕事の都合」の割合が高く、女性は居住地選択で「治安」を重要視する割合が高い

転出者が転出先を選んだ理由は「治安」と「買い物環境」の割合が2割程度

- ・いずれの居住属性でも、港区に住むきっかけは「あなたの仕事の都合」の割合が最も高い（図表2-44）。
- ・転出者が港区に住んだきっかけは「あなたの仕事の都合」に次いで、「配偶者（パートナー）の仕事の都合」の割合が高い（図表2-44）。
- ・転入者と居住者は「住居の購入」の割合も高く、1割強となっている（図表2-44）。
- ・転入者も居住者も、「芝浦港南地区」居住者で港区に住むきっかけが「結婚・子育て」の割合が高い（図表2-46）。
- ・居住環境で重要視している点は、いずれの居住属性でも「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」「治安」「勤務先との近さ」の割合が高い一方で、転出者は「住宅価格・家賃の水準」の割合が約半数と、他の居住属性と比較して高い割合となっている（図表2-49-1）。
- ・いずれの居住属性でも、「男性」より「女性」の方が居住地選択において「治安」を重要視する割合が高い（図表2-50）。
- ・いずれの居住属性でも、「18～39歳」で居住地選択において「住宅価格・家賃の水準」を重要視する割合が高い（図表2-51）。
- ・いずれの居住属性でも、転入先として港区を選んだ理由は「勤務先との近さ」と「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」の割合が高い（図表2-55-1）。
- ・転出者が転出先を選んだ理由は「住宅価格・家賃の水準」に加え、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」と「勤務先との近さ」の割合が高くなっている。「治安」や「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」も2割強を占めている（図表2-61-1）。
- ・転出者が転出先を選んだ理由として、「男性」の方が「防災」を選択した割合が高い（図表2-62）。

オ 転入者は今後の家計が向上すると回答した割合が高い

- ・転入者と転出者は「既婚・18歳未満の子と同居」で世帯消費月額が高い人の割合が高い一方、居住者は「既婚・子と同居なし」で世帯消費月額が高い人の割合が高い（図表2-79）。
- ・賃貸住宅に住む人の中では、いずれの居住属性でも「家賃が10～20万円未満」の人の割合が高い（図表2-80-1）。
- ・転入者は、居住者・転出者と比較して、今後の家計が「向上する」又は「やや向上する」と回答した割合が高い（図表2-85-1）。

カ 転入者は港区に対する「まちのイメージ・ブランド力」、居住者は「子育てのしやすさ（就学前）」「教育環境（小・中学校）」「まちのイメージ・ブランド力」、転出者は転出先に対する「日常的な買い物の環境」の満足度が高い

- ・「子育てのしやすさ（就学前）」「教育環境（小・中学校）」は、転出者の転出先に対する満足度が低い一方、港区居住者の同回答割合は5割以上と高い（図表2-89）。
- ・「日常的な買い物の環境」は転出者の転出先に対する満足度が6割以上と高く、転入者と居住者は同値が半数程度と、転出者と比較して低い（図表2-89）。
- ・「まちのイメージ・ブランド力」は、転出者の転出先に対する満足度が6割程度である一方、転入者と居住者が8割以上と非常に高い（図表2-89）。

キ 転入者の3割程度、居住者の4割程度が「ずっと区内に住み続けたい」

- ・「ずっと区内に住み続けたい」と回答した割合は、転入者が3割程度、居住者が4割程度となっている（図表2-97-1）。
- ・ずっと港区に住みたいと回答した人以外の港区に住みたいと考える年数は、転入者では「5年未満」の割合が最も高く、居住者では「5～10年未満」の割合が最も高い（図表2-97-2）。
- ・世帯類型別にみた「ずっと区内に住み続けたい」と回答した転入者の割合は、「既婚・18歳未満の子と同居」と「既婚・子と同居なし」が4割程度と、「未婚・子と同居なし」の人よりも既婚者の方が定住意向が高い（図表2-100）。

ク 環境に対する意見が多い

- ・転入者と居住者では、「環境（臭害、たばこ、騒音・温暖化、緑と水、ごみ等）」に対する意見が多くみられた（図表2-102、103）。

（2）集計結果を踏まえた対応の方向性

ア 買い物環境や治安の改善など、勤務地や働き方が変わっても住み続けたいと思える暮らしの場としての魅力の向上

いずれの居住属性でも、港区に住むきっかけは「あなたの仕事の都合」の割合が最も高くなっている。さらに、転出者が転出先を選んだ理由は「住宅価格・家賃の水準」に加え、「公共交通機関（道路交通を含む）・公共施設の利便性」と「勤務先との近さ」の割合が高くなっており、港区の人口の社会増減は、勤務地による要因が高いことが明らかになった。また、令和3年度と令和4年度の調査回答者が予想したよりもテレワーク・在宅勤務の割合は高まっており、働き方が多様化していることも明らかになった。

令和4年度に港区政策創造研究所が実施した「港区における買い物環境改善に向けた調査研究」では、区民の外出の頻度はコロナ禍前から大きく低下した一方、家で調理した料理を食べる（自炊）頻度は上昇しており、働き方と食事行動は一定程度の関連があることが明らかになった。

港区の魅力を更に向上させるためには、勤務地や働き方が変わっても住み続けたいと思うことができる、「勤務先との近さ」以外の魅力を高めることが重要である。例えば、転出者が転出先を選んだ理由として「治安」や「食料品・日用品・消耗品の買い物環境」の回答割合が高かったことを踏まえ、日常的な買い物環境の充実、利便性の高い道路交通環境の構築、生活安全の確保等、勤務先とのアクセス条件以外の暮らしの場としての魅力の向上に一層注力することが求められる。

イ 子育て世帯の定住促進に向けたイメージ戦略の強化

「35歳未満の未婚者（一生結婚するつもりはない人を除く）」の平均理想子ども数は、回答者全体の平均人数を上回る人数となっている一方、「35歳未満の未婚者（一生結婚するつもりはない人を除く）」の平均予定子ども数は、回答者全体の平均人数を下回る人数となっており、平均理想子ども数と平均予定子ども数の差が大きい。

当研究所で令和5年度に実施した「子育てしやすい環境の充実に向けた調査研究」では、予定子ども数が理想子ども数を下回っている要因として挙げられているのは子育ての経済的負担と精神的負担であることが明らかになった。また、同調査によると区民女性の区の環境への満足度は、出産から就学前までの子育てのしやすさ、小・中学校の教育・育成環境のそれぞれで半数前後と比較的高い水準にあり、調査対象者等は異なるものの、本研究における調査結果と同様の結果となっている。一方で、両調査において、港区を転入先として選んだ理由は、就労への利便性（通勤先へのア

クセス）や公共交通機関の利便性が、子育て環境や教育環境よりも上位に挙げられている。

こうした状況を踏まえると、区の子育て環境の認知度及び評価には向上の余地があると考えられることから、区民が多く働く区内企業の人事・福利厚生部門を通じて、区の子育て支援事業を周知する等、シティプロモーション戦略において充実した子育て環境のアピールを強化することが有効な施策の1つとして想定される。

ウ 定住・転入の促進に向けた女性の視点での生活安全の推進

いずれの居住属性でも男性より女性の方が「治安」を居住地選択で重要視する割合が高くなっている。

区が令和5年度に実施した「港区生活安全に関するアンケート調査」では、居住地区の治安の3年前との比較について、「変わっていない」が57.6%と最も高いものの、「やや悪くなっている」と「悪くなっている」の合計は27.8%となっている。これらの結果を踏まえると、「治安」が港区に居住する女性の転出要因の一つとなっている可能性がある。

区では、青色防犯パトロールによるパトロールやみんなと安全安心メール等での犯罪発生情報の発信、ながら見守り連携事業（地域に密着した事業者と区が協定を締結し、日常業務をしながら見守りに協力してもらう事業）の実施等生活安全のために様々な取組を行っている。しかし、港区内の刑法犯認知件数は、平成18年から令和3年度まで減少していたものの、令和4年以降増加しており、令和5年は2,980件となっている。また、犯罪被害以外の点では、子ども、女性への声かけ事案が多数発生している。「港区生活安全に関するアンケート調査」では、治安が悪くなっていると感じた理由として、「不審者にみえる人が多くなった気がするから」「周囲での犯罪被害やそれにつながりそうな事案を聞き知ったから」「地域の連帯意識が希薄となったから」といった理由の回答割合が高くなっており、現在の取組では不安感を十分に拭えていないことが分かる。

これらを踏まえ、繁華街や人通りの少ない場所、子どもが集まる場所など、犯罪が起こりやすい又は通行人が不安を感じる可能性があると考えられる地域のパトロール、地域での見守りを強化するなど、犯罪が起きにくい環境づくりを更に推進する必要があると考えられる。加えて、区の生活安全に係る取組を街中で知ることのできる環境づくりが必要であると考えられる。

エ 区内での住み替えに関する支援

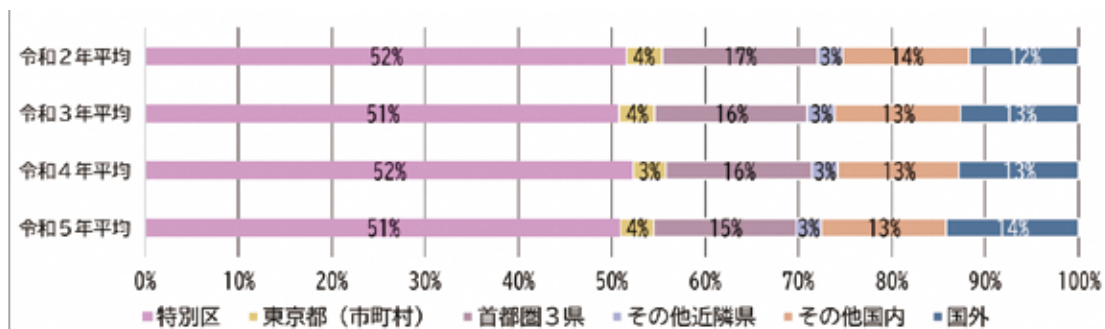
転出者において、居住環境として「住宅価格・家賃の水準」を重要視している人が53.96%を占め、転出先の選択要因としても45.32%を占めている。一方、調査回答者が港区に転入してきた際に「住宅価格・家賃の水準」を理由に港区を選んだ人は、全ての属性で15%を下回っている。

こうした実態から、港区の「住宅価格・家賃水準」は転入促進にプラスの要素とはなっておらず、転出の要因の一つとなっていると考えられる。

一方、別途住民基本台帳情報をもとに、区が保有する行政情報分析基盤システムで分析した結果、図表2-106に示すとおり、区からの転出者の約半数は、港区と同様に東京圏の他地域と比較して住宅価格・家賃が高い特別区内となっている。

住宅価格や家賃水準そのものについては、区の政策により望ましい水準に誘導することは困難であるが、物件情報へのアクセスをはじめとした情報面での支援を公益社団法人東京都宅地取引業協会や公益社団法人全日本不動産協会東京都本部港支部などとの連携により実施することや、他区で取組事例が多く見られるような、区内で転居する結婚、出産期の世帯を対象として、家賃や住宅取得コストに対する助成を行うことなどが、区内での住み替えを促進し、転出を抑制する上で有効と考えられる。

図表 2-106 港区からの転出者の転出先（人数割合）



出典：港区「住民基本台帳」（行政情報分析基盤システムより作成）